

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

令和3年1月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

1 建設業界のトピックス

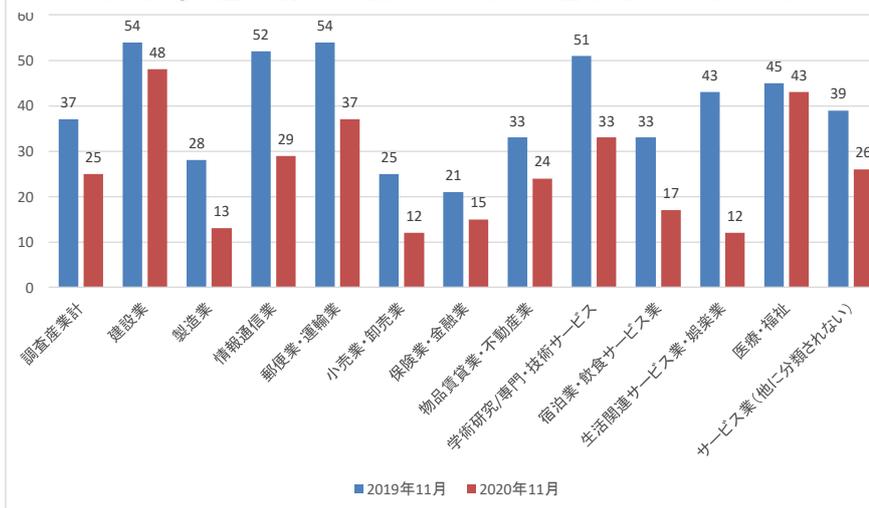
今回は、四半期ごとに労働力の過不足状況を調査している厚生労働省の「労働経済動向調査」から、労働者の過不足状況判断DI(注1)の最新の動向を分析します。

注1「労働者過不足判断DI(Diffusion Index)」:不足と回答した事業所の割合から、過剰と回答した事業所の割合を差し引いた値で、値が大きいほど人材不足感が高いことを表している。

■正社員等労働者の不足感が最も高いのは建設業

2020年11月調査における産業別の正社員等の過不足判断DIをみると、建設業が48ポイントの不足超過となり、最も人材の不足感が高くなっています(図表①)。

【図表① 産業別の正社員等労働者の過不足状況判断DI】

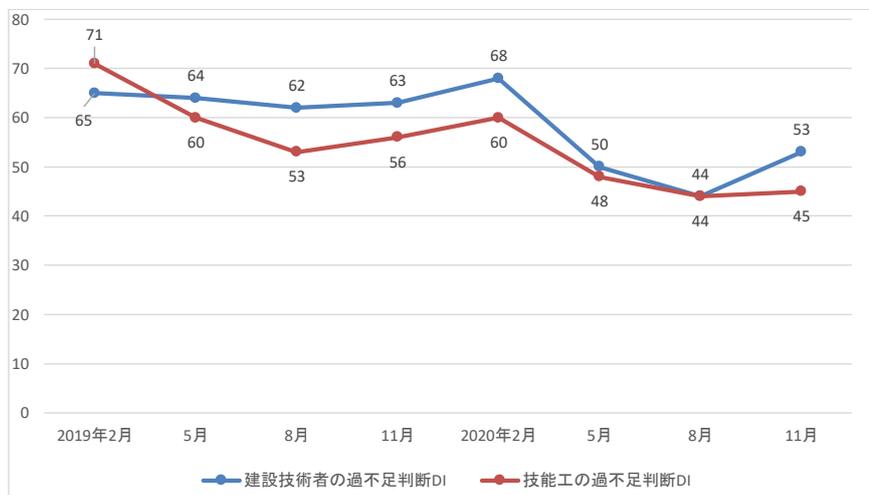


前年同月の54ポイントより6ポイント低下していますが、依然として建設業は最も人材不足感が高い業種と言えます。

■建設技術者、技能工の不足感は徐々に弱まる

次に、建設技術者と技能工について労働者過不足判断DIの推移をみると、建設技術者は2020年2月の68ポイントから5月には50ポイント、8月には44ポイントへと低下傾向が続いています(図表②)。技能工についても同様に、2020年2月の60ポイントから5月は48ポイント、8月は44ポイントへと低下傾向になっています。2020年11月については両職種ともにやや過不足判断DIは上昇していますが、前年同月と比べると建設技術者は10ポイント、技能工は11ポイント低下しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて建設技術者、技能工ともに人材不足感は弱まってきていることが分かります。

【図表② 建設技術者と技能工の過不足状況】



出典:図表①②ともに厚生労働省「労働経済動向調査」より作成

2 2020年11月の建設業界の雇用関連データ(2020年12月25日公表)

(1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は505万人(前年同月比98.4%)、雇用者数は415万人(同98.8%)で、ともに減少

<建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業就業者数(万人)	513	488	459	503	512	491	486	473	474	497	504	500	505
前年同月比	102.2%	101.2%	97.0%	101.4%	100.6%	97.6%	97.4%	93.8%	95.8%	97.8%	100.4%	101.2%	98.4%
建設業雇用者数(万人)	420	403	380	411	415	401	401	388	389	399	407	408	415
前年同月比	102.9%	103.1%	97.7%	102.8%	100.7%	96.2%	97.8%	94.4%	95.3%	95.7%	98.8%	100.2%	98.8%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所(以下:ハローワーク)における新規求人数は63,813人(前年同月比96.4%)と2カ月連続で減少

<建設業の新規求人数の推移(新規卒者とパートを除く)>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新規求人数(人)	66,211	67,089	65,149	64,012	68,055	63,707	61,954	76,647	69,111	62,101	77,682	75,888	63,813
前年同月比	94.9%	104.6%	88.1%	88.3%	94.3%	84.9%	90.0%	103.2%	90.8%	94.4%	107.1%	98.4%	96.4%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(2)建設技術職の雇用動向

◆建設技術者数は37万人(前年同月比102.8%)となり6カ月連続で増加

<建設技術者数の推移>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設技術者数(万人)	36	38	35	42	41	38	30	34	35	35	38	33	37
前年同月比	109.1%	108.6%	94.6%	123.5%	110.8%	100.0%	88.2%	103.0%	102.9%	106.1%	105.6%	106.5%	102.8%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者(常用・除くパート)の有効求人倍率は10カ月連続で低下し、前年同月よりも1.29ポイント低い6.04倍となり、建設技術者の需給は緩和傾向が続いている。

◆有効求人数は前年同月比95.8%となり11カ月連続で前年同月を下回り、新規求人数も同94.5%と低下しており、有効求人数は減少傾向が続くと思われる。一方、有効求職者数は前年同月比116.3%となり6カ月連続で前年同月を上回った。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は前年同月比0.29ポイント低下して10.13倍となっており、建設技術者の需給は緩和傾向が続くと思われる。

◆充足率は前年同月と同じの3.9%となり、ハローワークで建設技術者を採用することが困難な状況は続いている。

*充足率=(就職件数/新規求人数)×100(%)

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新規求人数(人)	18,984	19,685	17,758	17,719	18,204	16,703	16,808	19,890	18,776	17,843	20,081	20,276	17,934
有効求人数(人)	59,981	58,834	55,627	54,561	53,080	51,942	50,788	52,734	54,881	55,673	55,929	57,438	57,471
新規求職者数(人)	1,821	1,686	2,261	1,946	2,298	3,063	2,025	2,244	2,300	1,879	2,023	2,138	1,770
有効求職者数(人)	8,177	7,841	8,111	8,199	8,691	9,453	9,364	9,482	9,510	9,635	9,809	9,799	9,510
新規求人倍率	10.43	11.68	7.85	9.11	7.92	5.45	8.30	8.86	8.16	9.50	9.93	9.48	10.13
有効求人倍率	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49	5.42	5.56	5.77	5.78	5.70	5.86	6.04
就職件数	742	662	549	638	851	720	615	758	687	639	743	776	705
充足率	3.9%	3.4%	3.1%	3.6%	4.7%	4.3%	3.7%	3.8%	3.7%	3.6%	3.7%	3.8%	3.9%

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新規求人数	96.8%	108.7%	90.2%	89.6%	95.7%	83.0%	87.9%	96.6%	90.4%	94.0%	101.4%	93.7%	94.5%
有効求人数	101.2%	101.4%	98.2%	95.2%	91.6%	89.5%	88.1%	89.7%	91.5%	94.6%	95.3%	96.0%	95.8%
新規求職者数	89.1%	100.7%	98.1%	88.0%	98.7%	92.7%	88.4%	112.0%	102.0%	97.7%	104.6%	98.3%	97.2%
有効求職者数	93.6%	95.3%	97.6%	97.0%	97.6%	96.3%	96.2%	102.1%	107.1%	111.5%	115.1%	115.1%	116.3%
新規求人倍率	0.83	0.87	-0.69	0.17	-0.25	-0.65	-0.05	-1.42	-1.05	-0.37	-0.32	-0.46	-0.29
有効求人倍率	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42	-0.50	-0.77	-0.98	-1.03	-1.19	-1.16	-1.29
就職件数	91.7%	95.4%	81.2%	84.6%	90.8%	80.1%	68.7%	88.8%	86.1%	86.2%	96.0%	96.8%	95.0%
充足率	-0.2%	-0.5%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.2%	-1.0%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.2%	0.1%	0.0%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3)建設技能工の雇用動向

◆ハローワークにおける建設・採掘の職業(常用・除くパート)の有効求人倍率は、前年同月比0.49ポイント低下して5.68倍となり、9カ月連続で前年同月を下回った。

◆有効求人数は前年同月比103.7%となり3カ月連続で前年同月を上回った。新規求人数も同100.5%と前年を上回っており、企業の求人意欲は上昇傾向が続いている。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は4カ月連続で前年同月を上回っており、需給動向は再び逼迫してきそうである。

◆充足率は前年同月より0.1ポイント低下して6.5%隣となり、ハローワークで建設技能工を採用することが困難な状況は続いている。

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新規求人数(人)	34,622	34,487	33,611	33,768	35,927	34,694	34,171	40,305	37,340	33,659	41,368	41,112	34,800
有効求人数(人)	110,955	107,479	101,723	100,759	101,986	102,809	102,759	107,577	110,004	109,216	110,974	114,603	115,020
新規求職者数(人)	4,222	4,029	5,401	4,595	5,382	6,047	4,655	5,365	4,935	4,190	4,473	4,791	4,123
有効求職者数(人)	17,981	17,410	18,261	18,442	19,522	20,086	19,914	20,448	20,482	20,403	20,657	20,873	20,236
新規求人倍率	8.20	8.56	6.22	7.35	6.68	5.74	7.34	7.51	7.57	8.03	9.25	8.58	8.44
有効求人倍率	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12	5.16	5.26	5.37	5.35	5.37	5.49	5.68
就職件数	2,373	2,197	1,932	2,112	2,596	2,482	2,247	2,765	2,623	2,325	2,429	2,658	2,408
充足率	6.9%	6.4%	5.7%	6.3%	7.2%	7.2%	6.6%	6.9%	7.0%	6.9%	5.9%	6.5%	6.9%

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新規求人数	96.3%	105.0%	87.2%	88.7%	95.8%	88.9%	95.3%	105.6%	94.5%	98.6%	109.0%	102.9%	100.5%
有効求人数	100.4%	101.5%	96.1%	92.9%	90.6%	90.9%	93.0%	96.7%	98.3%	99.4%	100.7%	103.4%	103.7%
新規求職者数	90.7%	97.2%	91.6%	87.5%	93.0%	93.4%	86.8%	108.6%	97.3%	94.3%	95.9%	101.4%	97.7%
有効求職者数	92.5%	94.7%	94.8%	92.9%	93.2%	92.6%	93.9%	99.9%	102.4%	106.5%	109.0%	111.5%	112.5%
新規求人倍率	0.48	0.64	-0.32	0.10	0.20	-0.29	0.65	-0.22	-0.22	0.35	1.11	0.12	0.24
有効求人倍率	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09	-0.05	-0.17	-0.23	-0.38	-0.44	-0.43	-0.49
就職件数	86.9%	98.5%	90.6%	88.3%	91.3%	84.2%	78.0%	102.6%	91.3%	100.6%	94.2%	102.6%	101.5%
充足率	-0.7%	-0.4%	0.2%	0.0%	-0.4%	-0.4%	-1.5%	-0.2%	-0.2%	0.1%	-0.9%	0.0%	0.1%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

3 2020年11月の雇用関連データのまとめ(2020年12月25日公表)

(1) 主要な雇用環境指標の推移

◆就業者数、雇用者数ともに8カ月連続で前年同月割れ

就業者数は6,707万人(前年同月比55万人減)、雇用者数は6,017万人(同29万人減)となり、ともに8カ月連続で前年同月を下回った。就業率も8カ月連続で前年同月を下回り60.6%となった。

◆完全失業率は前月より0.2ポイント低下して2.9%となる

完全失業率(季節調整値)は前月より0.2ポイント低下して2.9%となった。完全失業者数は10カ月連続で増加して、前年同月比44万人増の195万人となった。

【主要雇用環境指標の推移】

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
15歳以上人口(万人)	11,097	11,085	11,086	11,083	11,084	11,080	11,084	11,086	11,086	11,077	11,085	11,076	11,073
対前年同月増減(万人)	-6	-8	-11	-5	-6	-9	-9	-7	-10	-14	-7	-21	-24
労働力人口	6,913	6,883	6,846	6,850	6,876	6,817	6,854	6,865	6,852	6,882	6,899	6,910	6,902
対前年同月増減(万人)	36	68	53	38	15	-67	-44	-44	-36	-26	-37	-41	-11
就業者数(万人)	6,762	6,737	6,687	6,691	6,700	6,628	6,656	6,670	6,655	6,676	6,689	6,694	6,707
対前年同月増減(万人)	53	81	59	35	13	-80	-76	-77	-76	-75	-79	-93	-55
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	60.9%	60.8%	60.3%	60.4%	60.4%	59.8%	60.1%	60.2%	60.0%	60.3%	60.3%	60.4%	60.6%
対前年同月増減	0.5%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%	-0.7%	-0.6%	-0.7%	-0.6%	-0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.4%
雇用者数(万人)	6,046	6,043	6,017	6,026	6,009	5,923	5,920	5,929	5,942	5,946	5,961	5,998	6,017
対前年同月増減(万人)	63	80	64	64	61	-36	-73	-94	-92	-79	-56	-48	-29
完全失業者数(万人)	151	145	159	159	176	189	198	195	197	206	210	215	195
対前年同月増減(万人)	-17	-14	-7	3	2	13	33	33	41	49	42	51	44
完全失業率	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.9%	2.8%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	2.9%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆就業者数は前月に引き続き宿泊業・飲食サービス業で大幅に減少

産業別に就業者数を見ると、宿泊業・飲食サービス業が対前年同月増減率6.9%減(29万人減)と最も大幅な減少率となった。一方、最も大幅に増加したのは不動産業・物品賃貸業であり、同14.8%増(19万人増)となった。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	201	505	1,043	247	343	1,065	170
	対前年同月増減数	-11	-8	-19	19	2	-1	-7
	対前年同月増減率	-5.2%	-1.6%	-1.9%	8.3%	0.6%	-0.1%	-4.0%
雇用者	実数(万人)	61	415	1,001	232	331	993	167
	対前年同月増減数	-6	-5	-16	16	3	2	-7
	対前年同月増減率	-9.0%	-1.2%	-1.6%	7.4%	0.9%	0.2%	-4.0%

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類されない)
就業者	実数(万人)	149	253	391	248	345	871	445
	対前年同月増減数	19	2	-29	9	12	26	-15
	対前年同月増減率	14.6%	0.8%	-6.9%	3.8%	3.6%	3.1%	-3.3%
雇用者	実数(万人)	131	196	340	192	322	841	406
	対前年同月増減数	13	1	-25	8	9	22	0
	対前年同月増減率	11.0%	0.5%	-6.8%	4.3%	2.9%	2.7%	0.0%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆非正規の職員・従業員が8カ月連続で大幅に減少

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は3,547万人(前年同月比21万人増)と6カ月連続で増加した。一方、非正規の職員・従業員数は前年同月比62万人減の2,124万人となり、9カ月連続で大幅な減少となった。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
役員を除く雇用者数(万人)	5,712	5,698	5,665	5,688	5,656	5,582	5,580	5,605	5,621	5,605	5,608	5,645	5,671
正規の職員・従業員(万人)	3,526	3,518	3,516	3,530	3,506	3,563	3,534	3,561	3,578	3,535	3,529	3,535	3,547
構成比	61.7%	61.7%	62.1%	62.1%	62.0%	63.8%	63.3%	63.5%	63.7%	63.1%	62.9%	62.6%	62.5%
対前年同月増減(万人)	7	40	42	44	67	63	-1	30	52	38	48	9	21
非正規の職員・従業員(万人)	2,186	2,179	2,149	2,159	2,150	2,019	2,045	2,044	2,043	2,070	2,079	2,111	2,124
構成比	38.3%	38.2%	37.9%	38.0%	38.0%	36.2%	36.6%	36.5%	36.3%	36.9%	37.1%	37.4%	37.5%
対前年同月増減(万人)	44	23	-5	2	-26	-97	-61	-104	-131	-120	-123	-85	-62

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業率が最も上昇したのは15歳～24歳の男性

年齢階級別・男女別に完全失業者数及び完全失業率を見ると、男性は0.2ポイント低下、女性は0.3ポイント低下と、ともに低下している。年齢層・男女別では15歳～24歳の女性と35歳から44歳の女性、45歳から54歳の男性の失業率が上昇した。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	195	44	2.9%	-0.2%
(男)	123	34	3.2%	-0.2%
(女)	72	11	2.4%	-0.3%
15歳～24歳	24	4	4.8%	-0.2%
(男)	13	3	5.2%	-0.4%
(女)	11	1	4.6%	0.1%
25歳～34歳	44	10	3.8%	-0.8%
(男)	28	6	4.2%	-0.4%
(女)	16	3	3.1%	-1.4%
35歳～44歳	37	11	2.6%	0.0%
(男)	23	8	2.9%	-0.4%
(女)	13	2	2.1%	0.2%
45歳～54歳	40	9	2.4%	-0.1%
(男)	24	7	2.8%	0.2%
(女)	16	2	2.1%	-0.4%
55歳～64歳	35	11	2.9%	-0.1%
(男)	24	9	3.4%	0.0%
(女)	11	2	2.2%	-0.4%
65歳以上	15	1	1.7%	-0.4%
(男)	11	1	—	—
(女)	4	0	—	—

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆前月に引き続き、勤め先や事業の都合による離職が大幅に増加

完全失業者数を求職理由別に見ると、勤め先や事業の都合による離職が前年同月比20万人増の42万人となり、前月に引き続き大幅に増加した。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	22	20	20	21	23	30	35	41	38	39	40	45	42
対前年同月増減(万人)	0	0	-2	1	4	9	12	19	19	19	19	22	20
定年または雇用契約終了による離職(万人)	15	14	16	15	17	18	19	20	19	22	26	25	20
対前年同月増減(万人)	-2	-3	-1	1	1	-2	3	5	1	5	9	12	5
自発的な離職(自己都合)(万人)	63	62	69	69	71	71	73	72	74	75	79	84	67
対前年同月増減(万人)	-12	-11	-3	3	-8	-4	5	6	4	2	6	11	4
新たに求職	35	37	37	39	46	52	54	50	48	49	49	44	48
対前年同月増減(万人)	-2	1	-3	1	6	13	14	7	13	17	9	4	13

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

(2) 全体の有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は2カ月連続で上昇して1.06倍となる

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.02ポイント上昇して1.06倍となった。2カ月連続の上昇。
正社員の有効求人倍率も前月より0.01ポイント上昇して0.800倍となった。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率(倍)	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03	1.04	1.06
新規求人倍率(倍)	2.32	2.43	2.04	2.22	2.26	1.85	1.88	1.72	1.72	1.82	2.02	1.82	2.02
正社員有効求人倍率(倍)	1.13	1.13	1.07	1.05	1.03	0.98	0.90	0.84	0.81	0.78	0.78	0.79	0.80

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月より0.62ポイント低下して1.71倍となった。16カ月連続の低下であり、8カ月連続ですべての専門的・技術的職種が前年同月割れとなっている。

◆最も大幅に低下したのは前月に続いて医師・歯科医師・獣医師・薬剤師であり前年同月比1.87ポイント低下して2.79倍となった。次いで建築・土木・測量技術者が同1.30ポイント低下して6.04倍となった。

■最も有効求人倍率が高いのは建築・土木・測量技術者の6.04倍、次いで建設・採掘の職業の5.68倍となっており、建設業関連の専門職の人手不足が依然として深刻である。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
職業計	1.46	1.51	1.40	1.34	1.25	1.12	1.02	0.98	0.96	0.94	0.94	0.96	1.00
専門的・技術的職業の有効求人倍	2.33	2.45	2.32	2.21	2.06	1.83	1.73	1.70	1.68	1.64	1.64	1.66	1.71
開発技術者	2.36	2.40	2.29	2.23	2.13	1.98	1.92	1.89	1.82	1.69	1.64	1.59	1.57
建築・土木・測量技術者	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49	5.42	5.56	5.77	5.78	5.70	5.86	6.04
情報処理技術者	2.42	2.47	2.30	2.17	2.08	1.87	1.66	1.55	1.47	1.36	1.29	1.26	1.27
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	4.66	4.90	4.76	4.51	4.40	3.81	3.55	3.23	3.05	2.84	2.74	2.77	2.79
保健師、助産師、看護師	2.63	2.85	2.69	2.60	2.45	2.18	2.12	2.12	2.07	2.03	2.04	2.10	2.20
医療技術者	3.27	3.42	3.20	3.10	2.91	2.53	2.32	2.29	2.34	2.35	2.43	2.52	2.64
その他の保健医療の職業	2.32	2.40	2.32	2.29	2.14	1.91	1.73	1.58	1.55	1.50	1.51	1.57	1.64
社会福祉専門の職業	3.58	3.92	3.73	3.36	3.08	2.73	2.72	2.79	2.9	2.92	3.01	3.12	3.21
美術家、デザイナー、写真家	0.39	0.39	0.37	0.36	0.32	0.26	0.21	0.20	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19
事務的職業	0.47	0.48	0.47	0.46	0.43	0.36	0.32	0.31	0.30	0.29	0.29	0.29	0.30
販売の職業	2.08	2.15	2.06	2.11	2.03	1.79	1.55	1.47	1.44	1.41	1.36	1.35	1.41
サービスの職業	3.18	3.33	3.11	3.02	2.81	2.45	2.12	1.97	1.96	1.95	1.94	2.00	2.09
生産工程の職業	1.67	1.68	1.56	1.54	1.47	1.36	1.20	1.09	1.04	1.01	1.06	1.11	1.18
輸送・機械運転の職業	2.81	2.88	2.68	2.58	2.38	2.10	1.89	1.77	1.74	1.71	1.73	1.78	1.84
建設・採掘の職業	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12	5.16	5.26	5.37	5.37	5.37	5.49	5.68

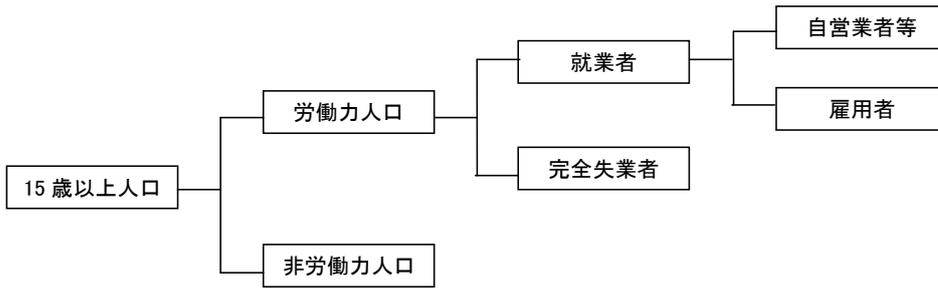
出典:厚生労働省:一般職業紹介状況より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月比】

	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
職業計	-0.03	-0.03	-0.11	-0.15	-0.18	-0.23	-0.31	-0.39	-0.44	-0.47	-0.48	-0.47	-0.46
専門的・技術的職業	-0.05	-0.05	-0.11	-0.14	-0.18	-0.21	-0.28	-0.41	-0.50	-0.57	-0.59	-0.59	-0.62
開発技術者	-0.40	-0.44	-0.39	-0.43	-0.41	-0.36	-0.36	-0.51	-0.54	-0.71	-0.77	-0.68	-0.79
建築・土木・測量技術者	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42	-0.50	-0.77	-0.98	-1.03	-1.19	-1.17	-1.30
情報処理技術者	-0.22	-0.27	-0.35	-0.48	-0.49	-0.53	-0.70	-0.88	-0.97	-1.09	-1.17	-1.15	-1.15
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-0.88	-0.94	-1.20	-1.53	-1.54	-1.05	-1.35	-1.28	-1.42	-1.59	-1.71	-1.69	-1.87
保健師、助産師、看護師	0.02	0.02	-0.07	-0.05	-0.08	-0.06	-0.09	-0.19	-0.25	-0.32	-0.32	-0.37	-0.43
医療技術者	0.06	0.09	-0.06	-0.19	-0.24	-0.29	-0.41	-0.65	-0.71	-0.83	-0.69	-0.65	-0.63
その他の保健医療の職業	0.13	0.15	0.13	0.12	0.01	-0.08	-0.24	-0.52	-0.63	-0.71	-0.74	-0.71	-0.68
社会福祉専門の職業	0.16	0.30	0.22	0.06	0.00	-0.03	-0.05	-0.22	-0.32	-0.40	-0.41	-0.31	-0.37
美術家、デザイナー、写真家	-0.07	-0.08	-0.09	-0.10	-0.11	-0.14	-0.16	-0.19	-0.21	-0.21	-0.20	-0.20	-0.20
事務的職業	0.00	0.00	-0.02	-0.05	-0.05	-0.08	-0.11	-0.12	-0.15	-0.16	-0.17	-0.18	-0.17
販売の職業	-0.02	-0.02	-0.10	-0.02	-0.04	-0.17	-0.39	-0.52	-0.56	-0.60	-0.66	-0.67	-0.67
サービスの職業	0.12	0.13	0.01	-0.01	-0.10	-0.38	-0.76	-1.02	-1.10	-1.16	-1.16	-1.13	-1.09
生産工程の職業	-0.23	-0.27	-0.34	-0.34	-0.32	-0.37	-0.49	-0.62	-0.64	-0.67	-0.62	-0.55	-0.49
輸送・機械運転の職業	0.13	0.11	-0.06	-0.15	-0.28	-0.47	-0.63	-0.84	-0.87	-0.92	-0.92	-0.91	-0.97
建設・採掘の職業	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09	-0.05	-0.17	-0.23	-0.36	-0.44	-0.43	-0.49

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)